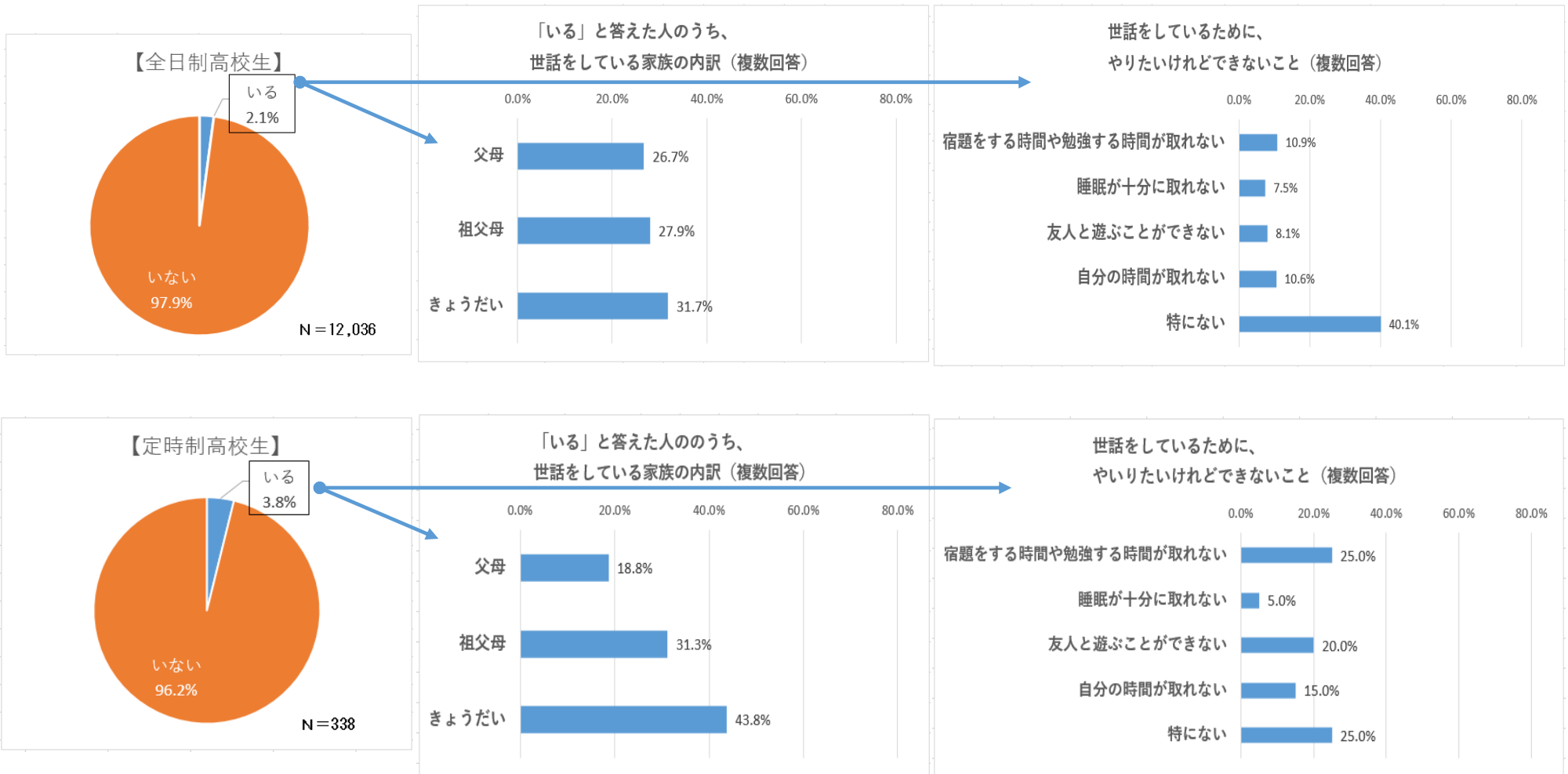


【ヤングケアラーの実態に関する調査結果のポイント①】 (ヤングケアラーの実態に関する調査結果について)

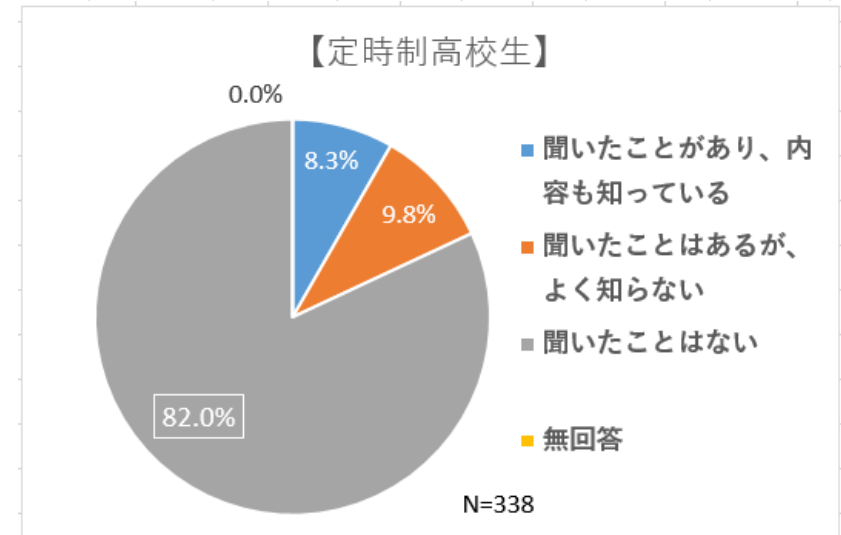
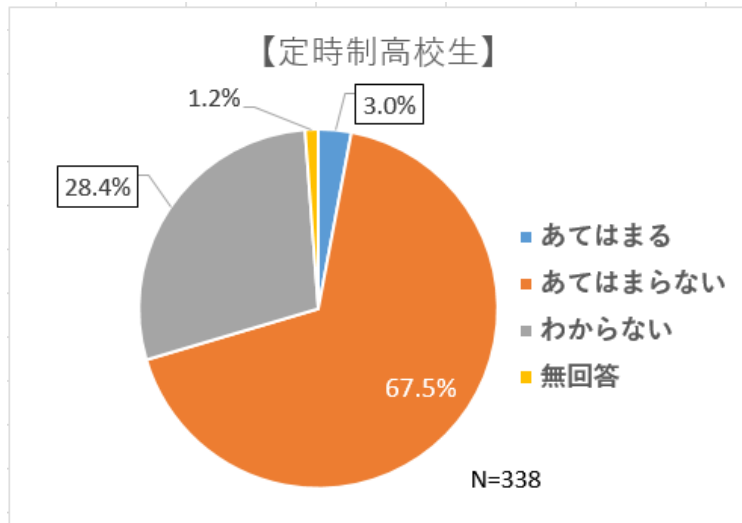
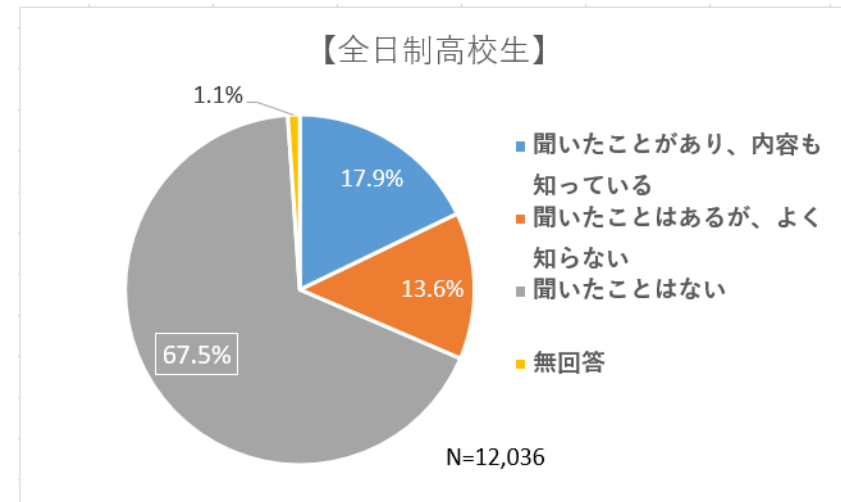
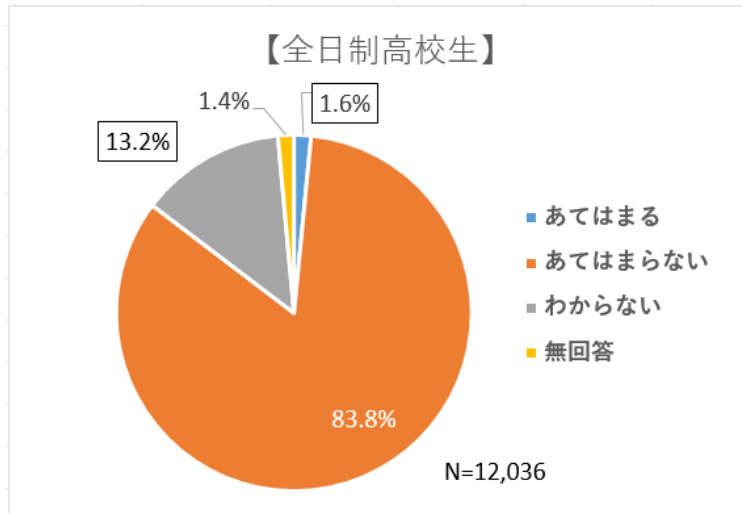
○ 世話をしている家族が「いる」と回答したのは、全日制高校生が2.1%、定時制高校生は3.8%



【ヤングケアラーの実態に関する調査結果のポイント②】

- ヤングケアラーと自覚している子どもは全日制高校生 1.6%、定時制高校生 3.0%
- わからないとした子どもが全日制高校生 13.2%、定時制高校生 28.4%

- ヤングケアラーの認知度は低く、「聞いたことはない」と回答したのは、全日制高校生 67.5%、定時制高校生 82.0%



ヤングケアラーの実態に関する調査結果について（長野県調査）

令和3年9月 Web 調査実施

【調査の目的】

「ヤングケアラーと思われる子ども」等の実態を把握し、今後の施策検討等に活かす

【調査の対象、方法等】

1 学校

令和3年9月3日（金）から9月30日（木）まで、以下の公立高等学校に対して Web 調査を実施

- ① 全日制高校（回収数 79、回収率 100%）
- ② 定時制高校（回収数 20、回収率 100%）
- ③ 通信制高校（回収数 3、回収率 100%）

2 高校生

令和3年9月3日（金）から9月30日（木）まで、以下の高校生に対して Web 調査を実施。

- ① 全日制高校生（回収数 12,036 人 無効回答数 5 人除く 令和3年5月1日現在 40,705 人 回答率 29.6%）
1①の高校に在籍する高校 1～3年生
- ② 定時制高校生（回収数 338 人 無効回答数 13 人除く 令和3年5月1日現在 1,659 人 回答率 20.4%）
1②の高校に在籍する高校 1～4年生
- ③ 通信制高校生（回収数 95 人 無効回答数 7 人除く 令和3年5月1日現在 1,603 人 回答率 5.93%）
1③の高校に在籍する生徒

【本調査におけるヤングケアラーの定義】

本調査における「ヤングケアラー」とは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身やりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」をいう。

(ヤングケアラーのイメージ (例))

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

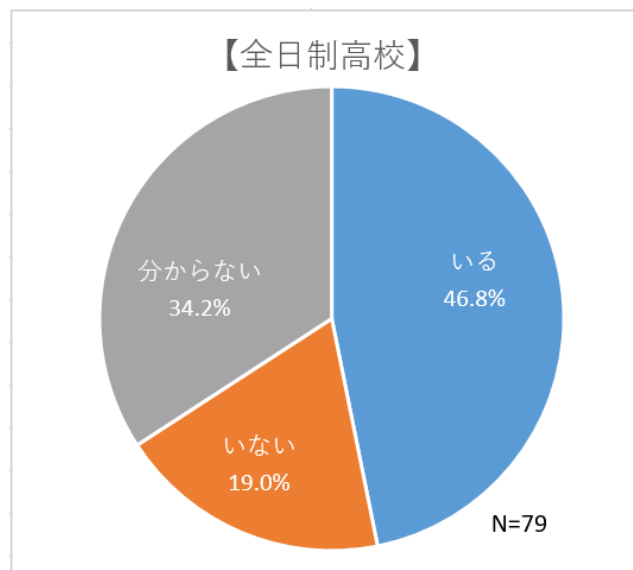


障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

【学校調査結果①】

- 学校に対し、ヤングケアラーの定義に該当すると思われる子どもの有無について質問。
- いずれの学校種でも「いる」が最も高く、全日制高校 46.8%、定時制高校で 78.9%、通信制高校で 66.7%であった。

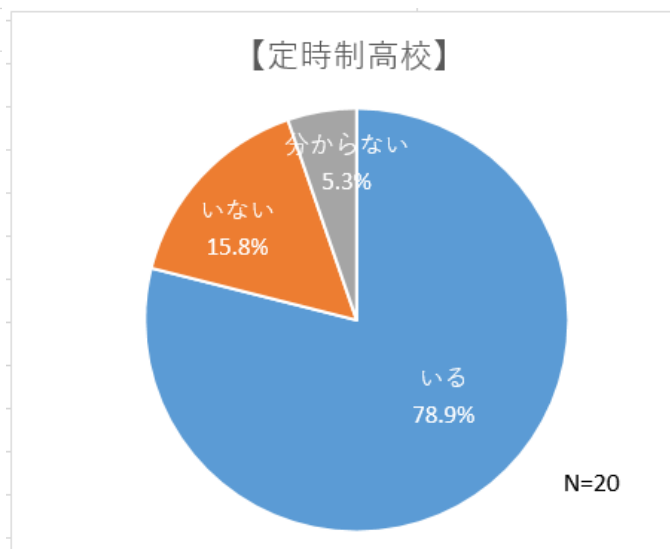


長野県

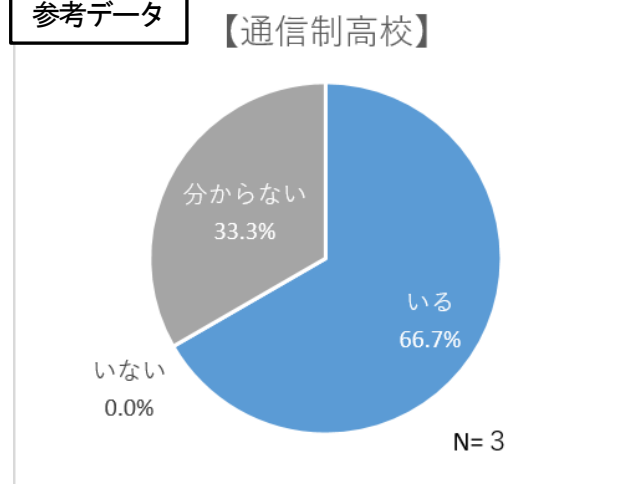
ヤングケアラーの有無	「有」割合
全日制高校 N=79	46.8%
定時制高校 N=20	78.9%
通信制高校 N= 3	66.7%

全国

ヤングケアラーの有無	「有」割合
全日制高校 N=249	49.8%
定時制高校 N=27	70.4%
通信制高校 N=35	60.0%

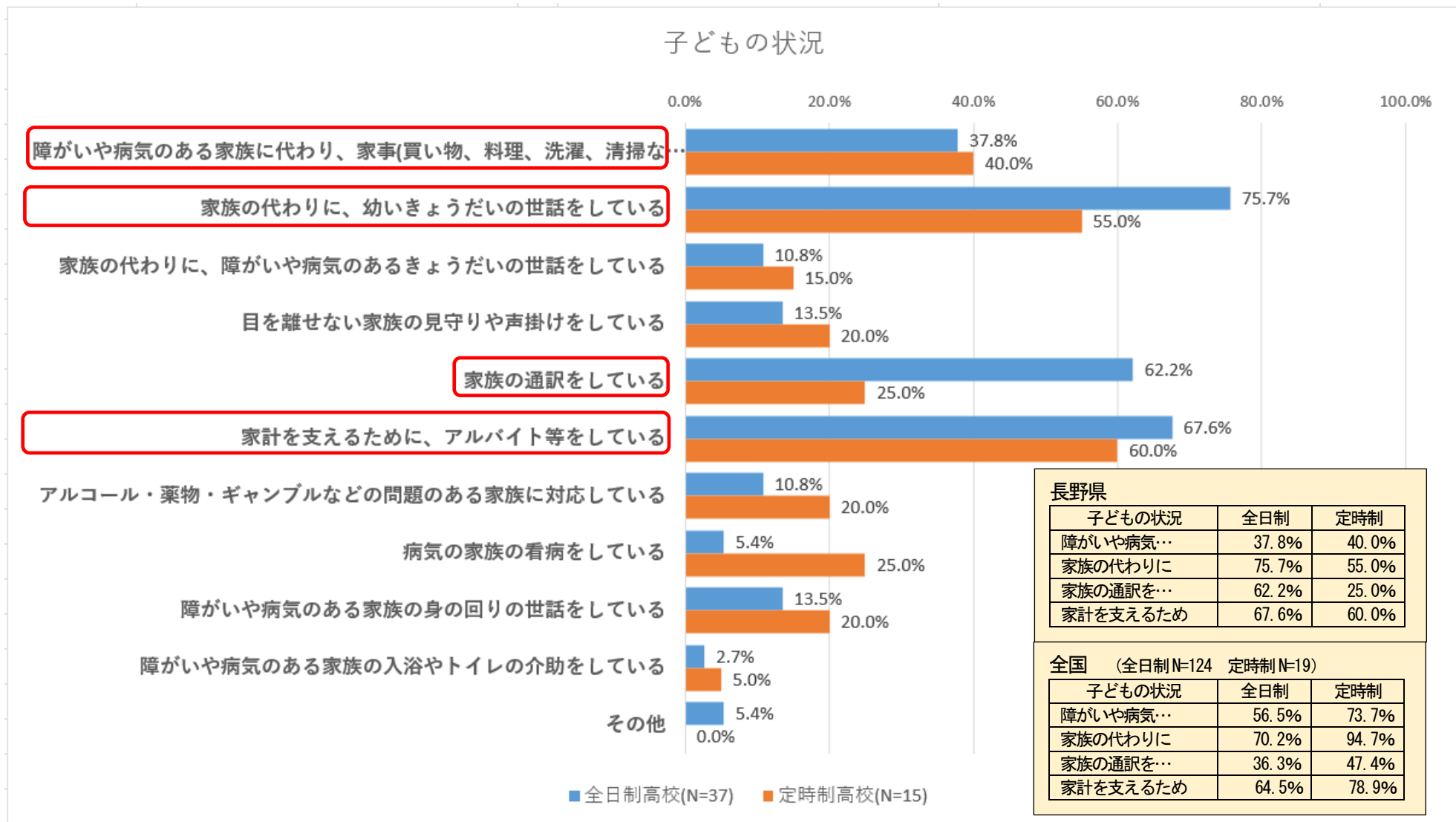


参考データ



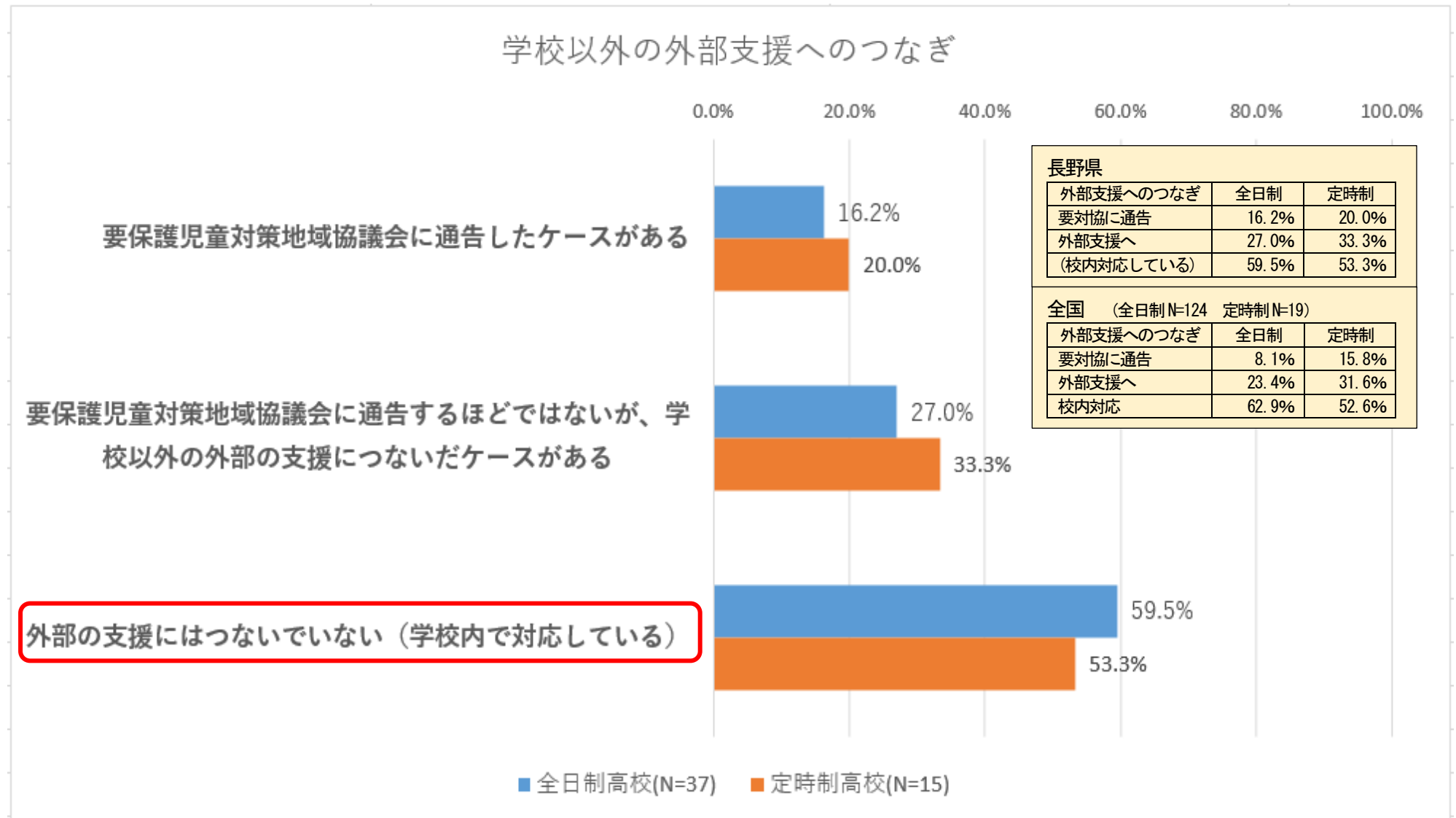
【学校調査結果②】

- ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校に、子どもの状況について質問（複数回答）。
- いずれの学校種でも「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」と「家計を支えるために、アルバイト等をしている」が高い。次いで「障害や病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、清掃など）をしている」が多い。
- 本県では全日制高校生で「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」「家族の通訳をしている」「家計を支えるために、アルバイト等をしている」が全国に比べて高い。



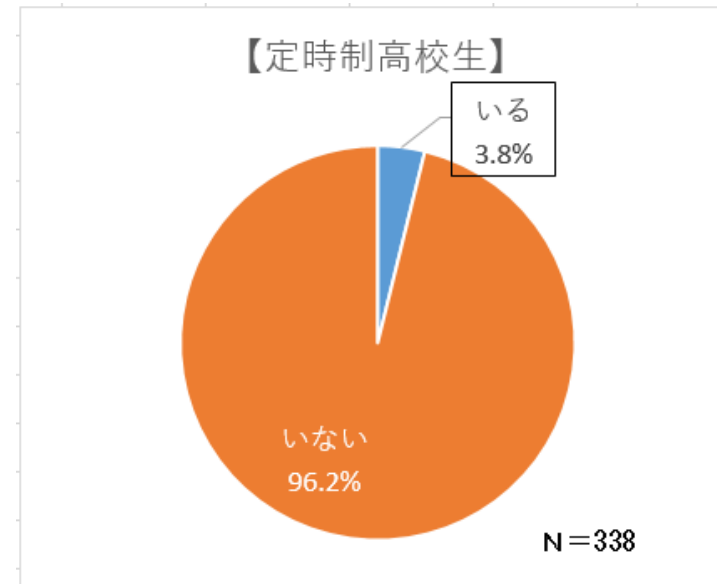
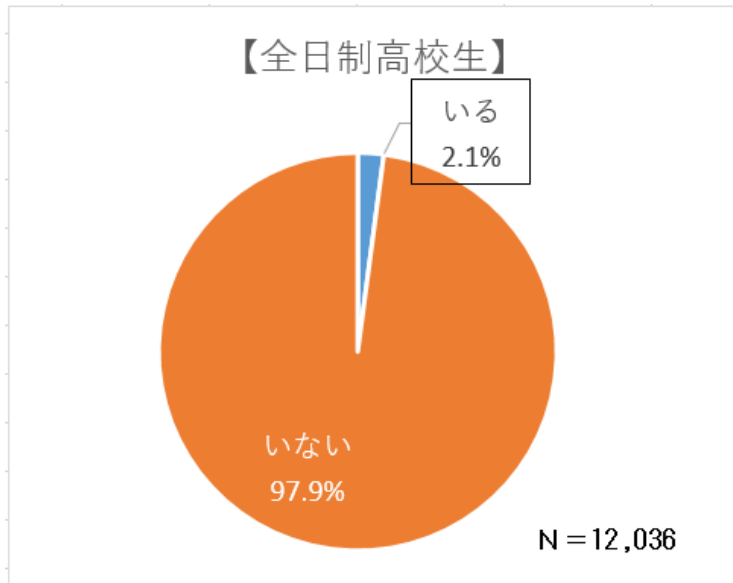
【学校調査結果③】

- ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校に、当該子どもを学校以外の外部の支援につないだケースがあるか質問（複数回答）。
- 全日制高校では、「外部の支援につないでいない（学校内で対応している）」が6割程度。



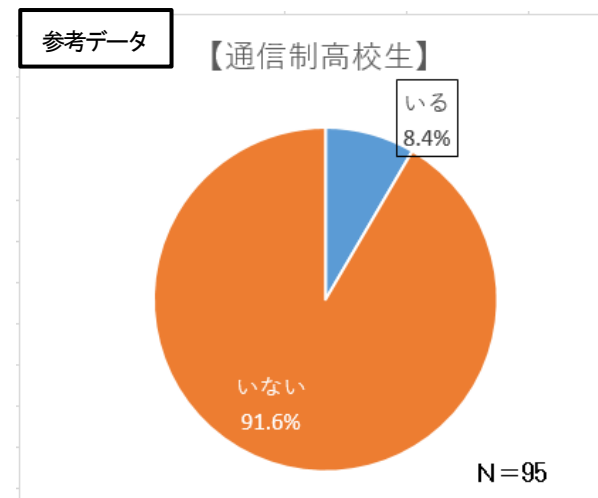
【高校生調査結果①】

- 高校生に対し、世話をしている家族の有無について質問。
- 世話をしている家族が「いる」と回答したのは全日制高校生1～3年生で2.1%、定時制高校生1～4年生で3.8%、通信制高校生で8.4%。



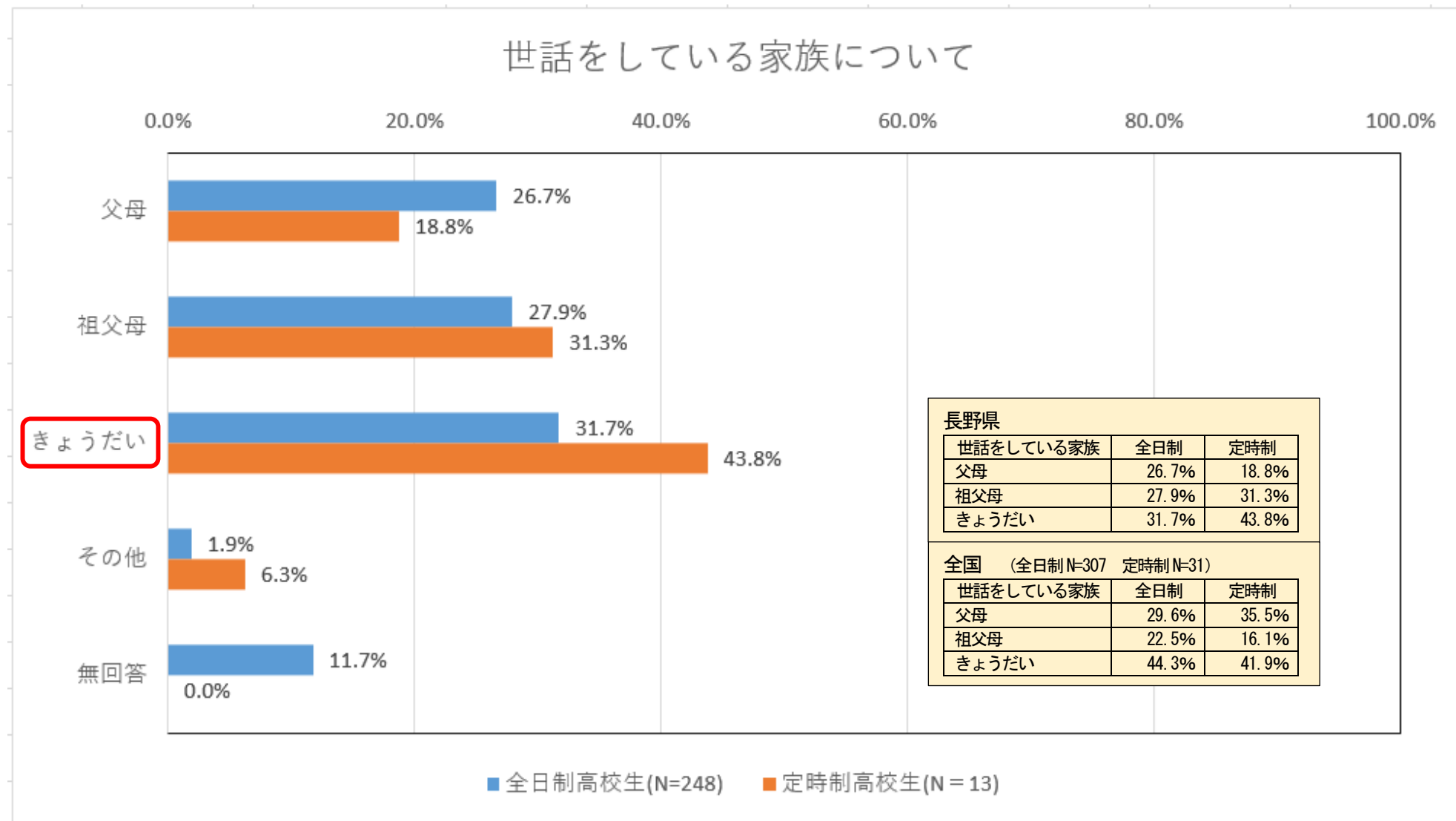
長野県		
世話をしている家族の有無		[有] 割合
全日制高校生	N=12,036	2.1%
定時制高校生	N=338	3.8%
通信制高校生	N=95	8.4%

全国		
世話をしている家族の有無		[有] 割合
全日制高校2年生	N=7,407	4.1%
定時制高校2年生相当	N=366	8.5%
通信制高校生	N=445	11.0%



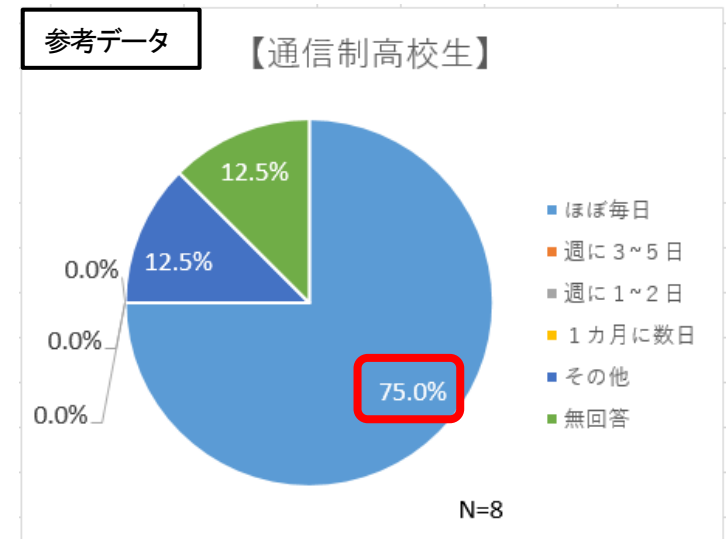
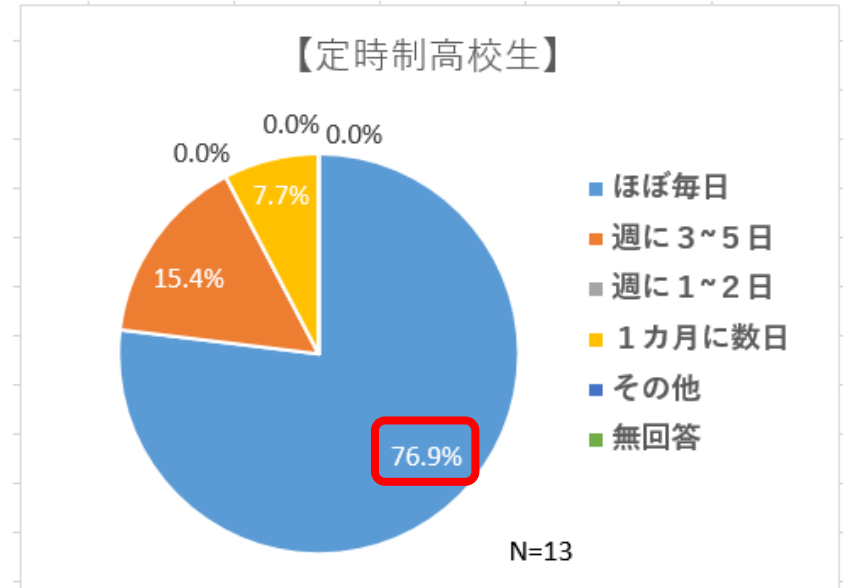
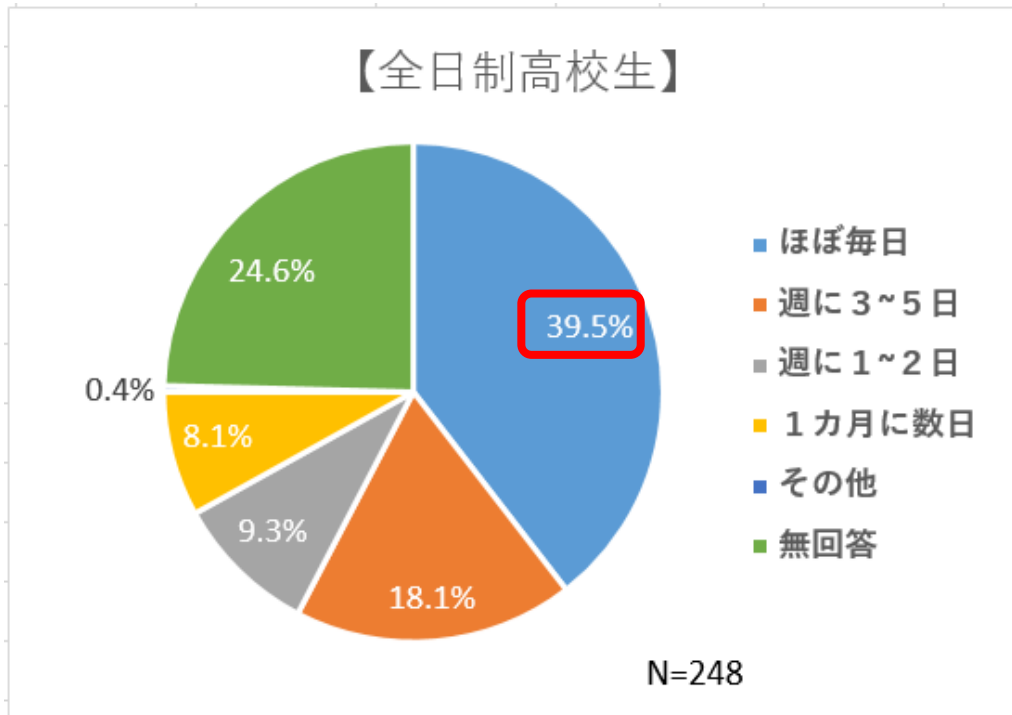
【高校生調査結果②】

- 世話をしている家族が「いる」と回答した高校生に、世話をしている家族について質問（複数回答）。
- いずれの学校種でも「きょうだい」が高い。



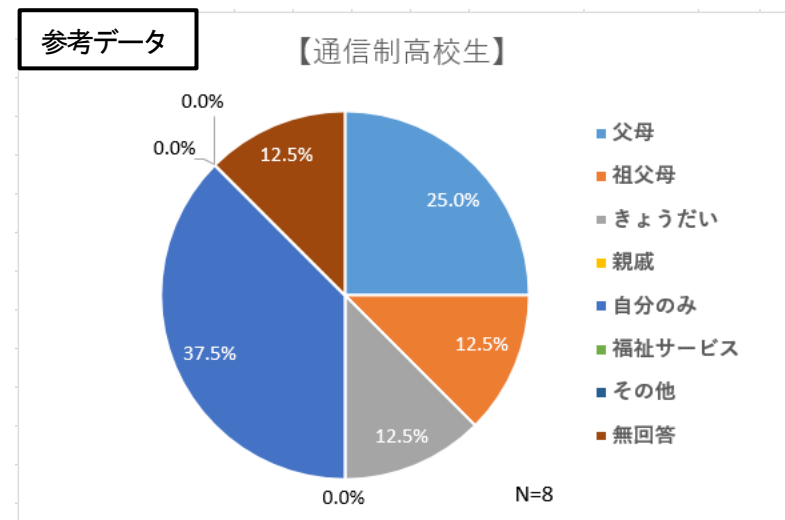
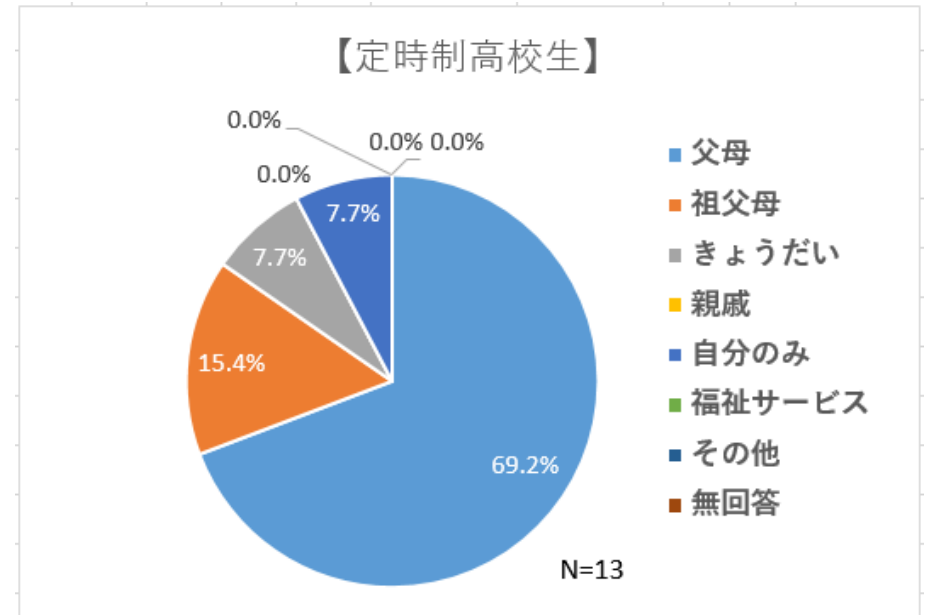
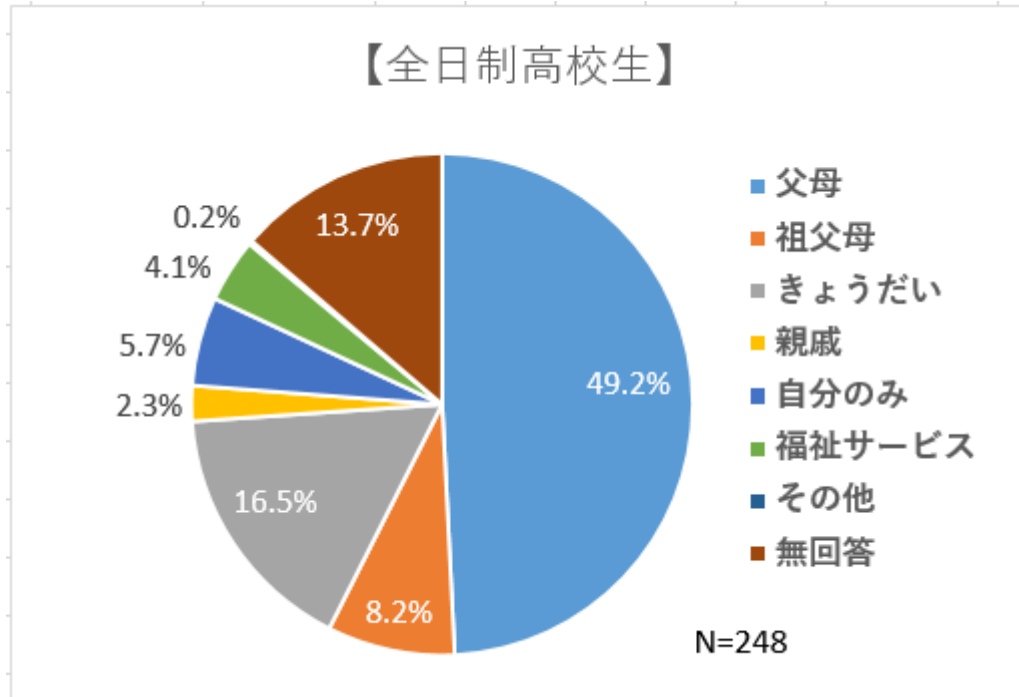
【高校生調査結果③】

- 世話をしている家族が「いる」と回答した高校生に、その頻度を質問。
- いずれの学校種でも「ほぼ毎日」が最も高い。



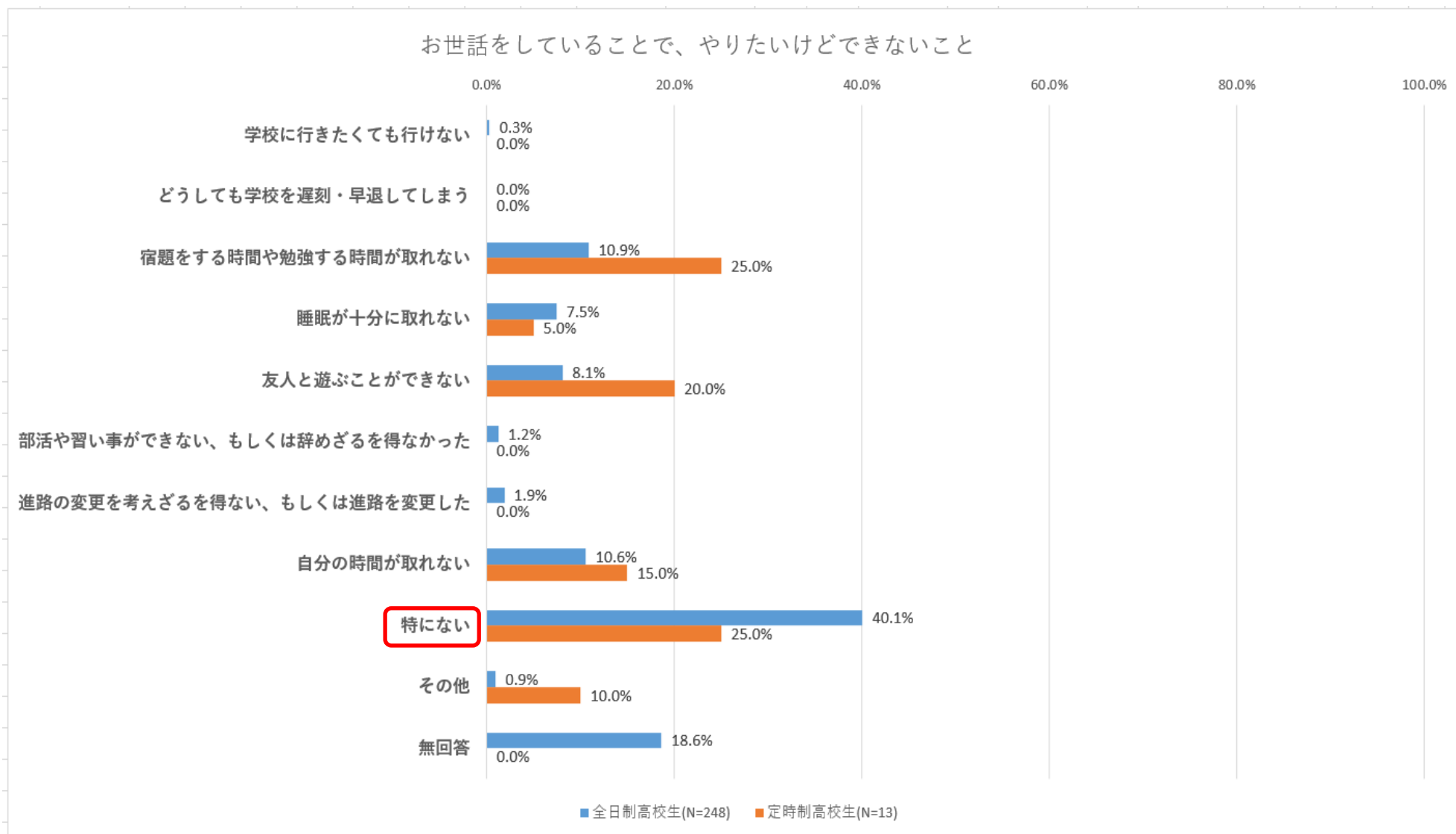
【高校生調査結果④】

- 世話をしている家族が「いる」と回答した高校生に、その世話を誰と行っているのか質問。
- 全日制高校と定時制高校では「父母」が最も高い。



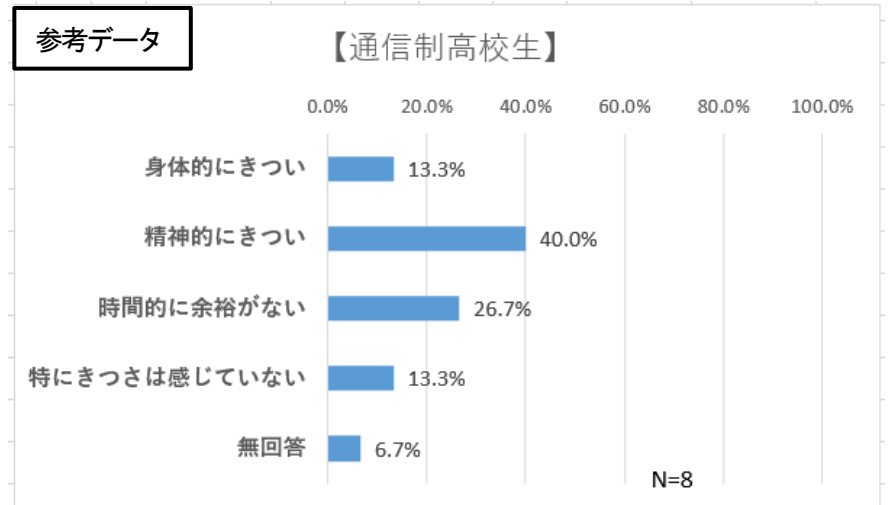
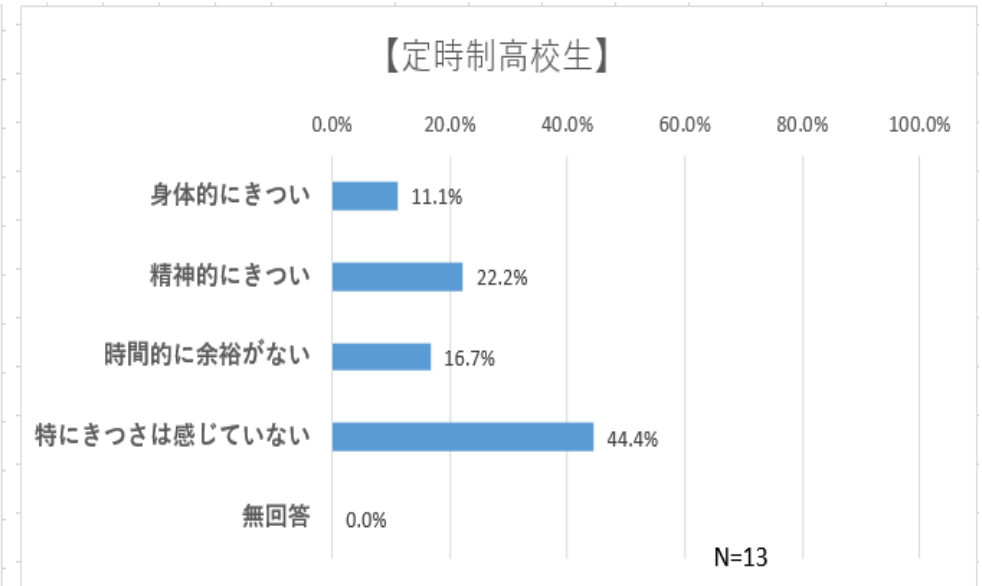
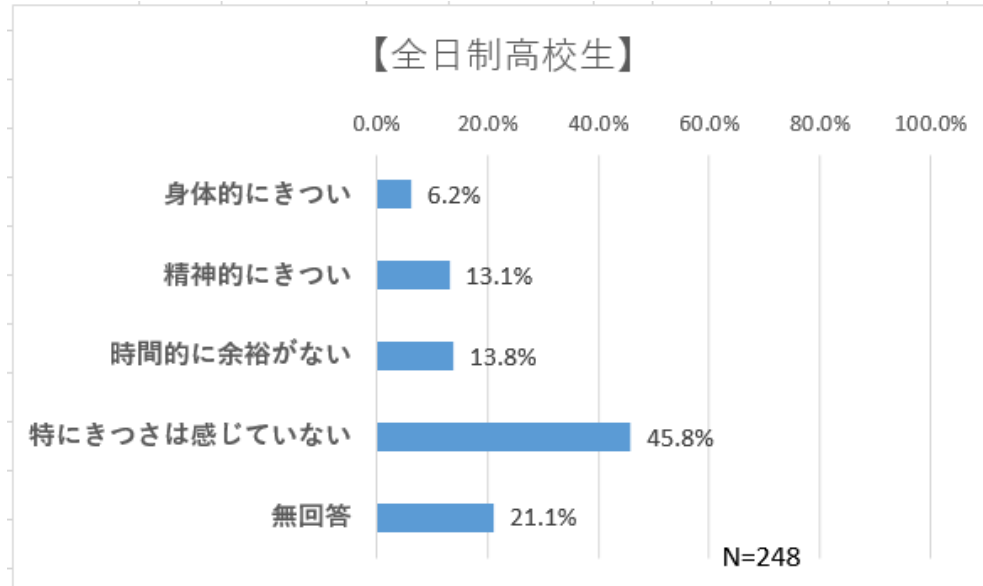
【高校生調査結果⑤】

- 世話をしている家族が「いる」と回答した高校生に、その世話をしていることで、やりたいけど、できないことを質問（複数回答）。
- いずれの学校種でも「特にない」が最も高い。



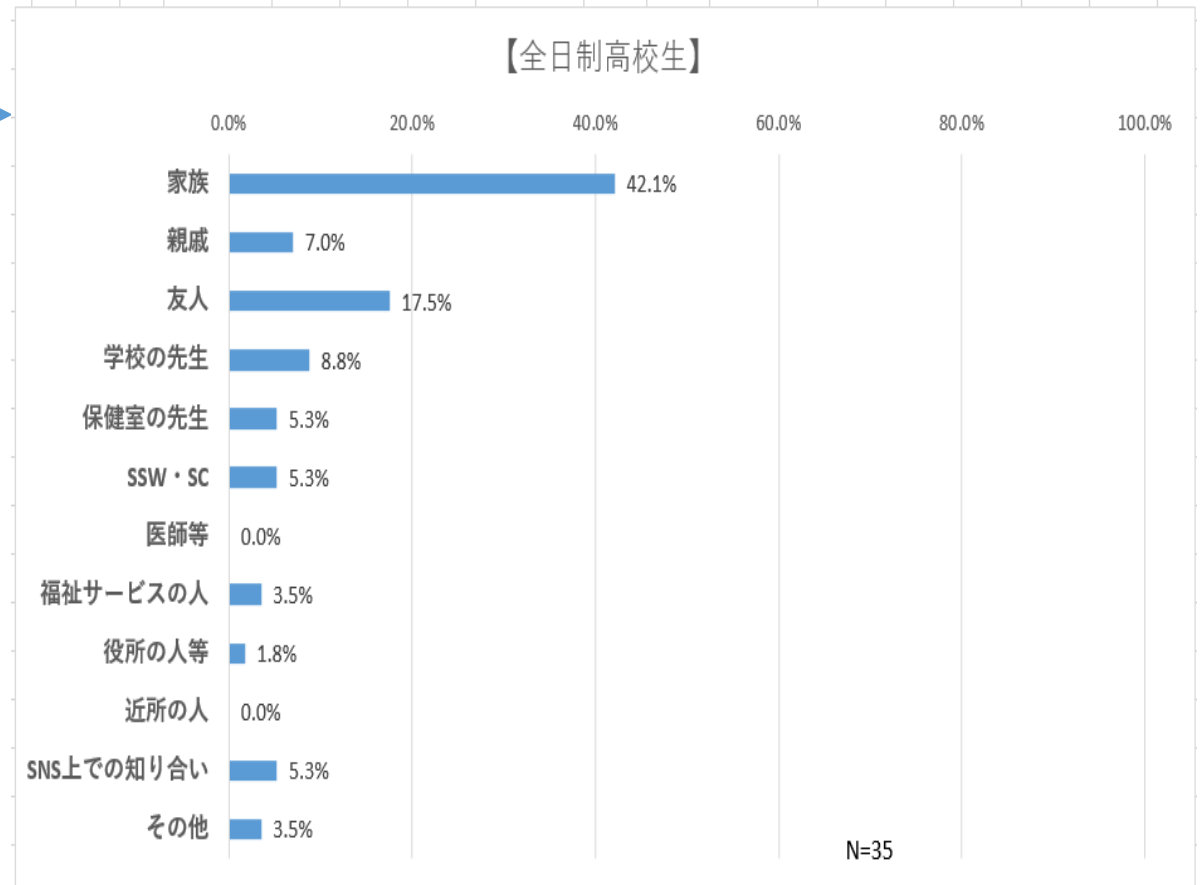
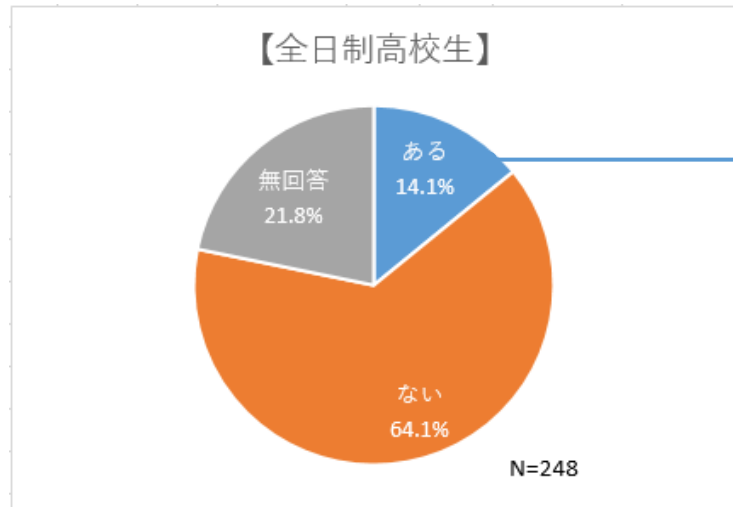
【高校生調査結果⑥】

- 世話をしている家族が「いる」と回答した高校生に、世話をすることで感じるきつさを質問（複数回答）。
- 全日制と定時制高校生では、「特にきつさは感じていない」が最も高い。



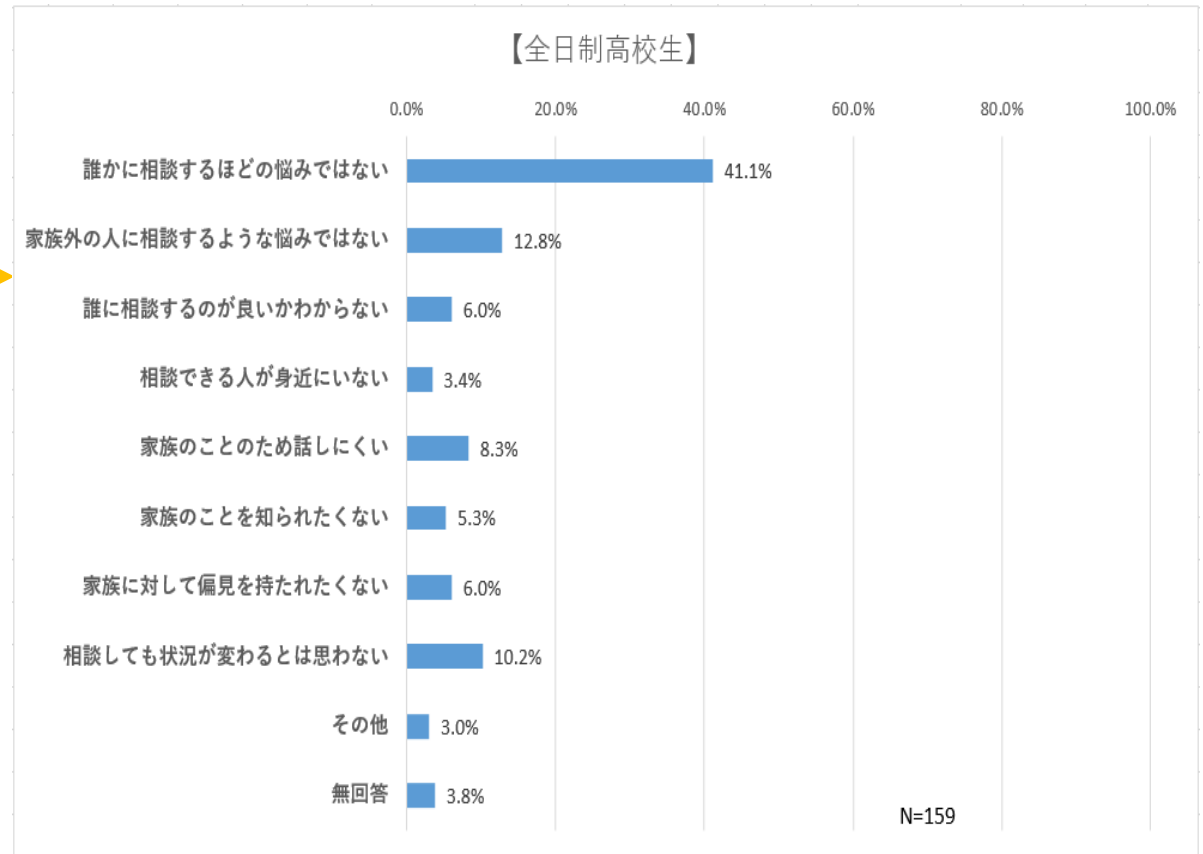
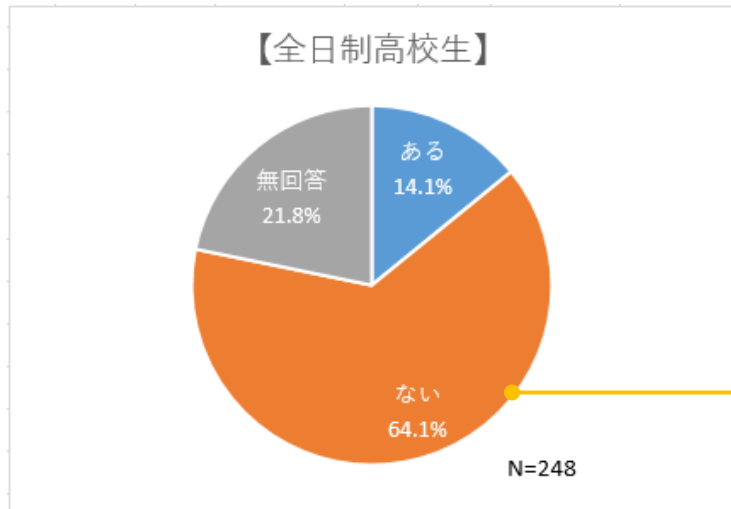
【高校生調査結果⑦-1a】

- 世話をしている家族が「いる」と回答した高校生に、世話の悩みを誰かに相談したことがあるのかを質問。また、「ある」場合は誰に相談したのかを質問（複数回答）。
- 全日制高校生で相談経験「ある」が14.1%、その相談は「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」にしたケースが最も高く42.1%。



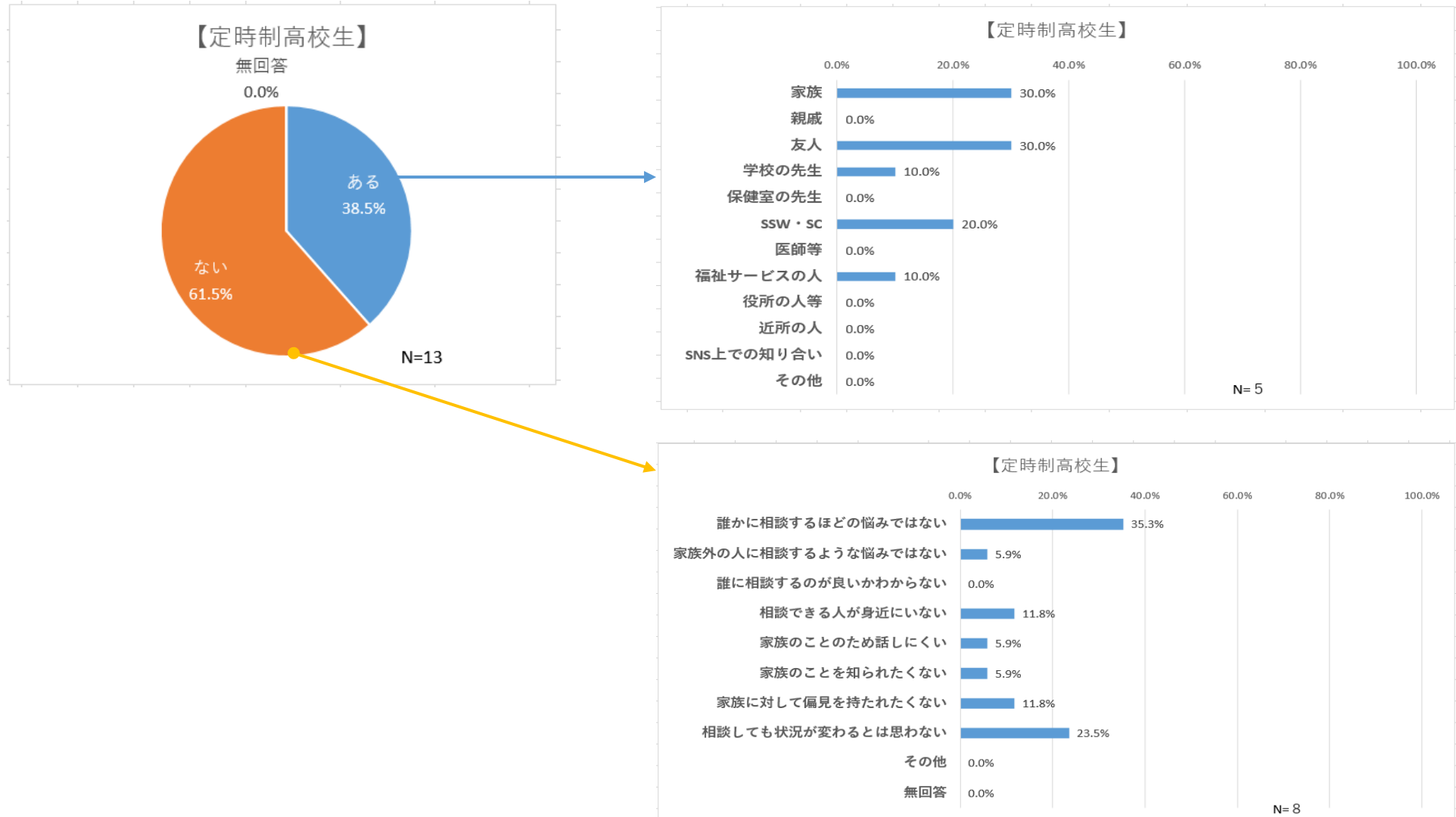
【高校生調査結果⑦-1b】

- 世話をしている家族が「いる」と回答した高校生に、世話の悩みを誰かに相談したことがあるのかを質問。また、ない場合は理由を質問（複数回答）。
- 全日制高校生で相談経験「ない」が64.1%、相談していない理由は「誰かに相談するほどの悩みではない」「家族外の人に相談するような悩みではない」が高く、ヤングケアラー案件の表面化しにくさが伺える。



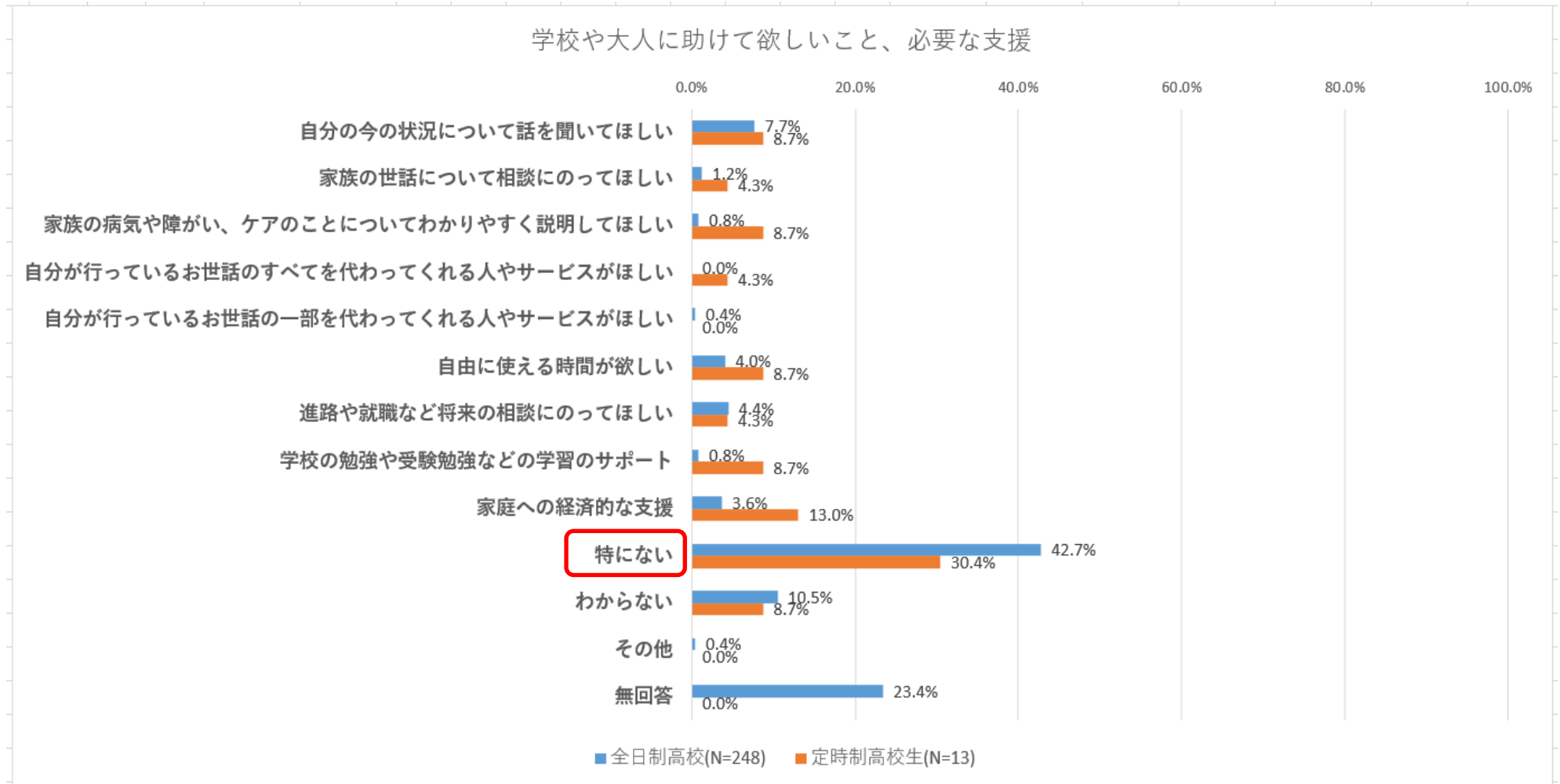
【高校生調査結果⑦-2】

- 世話をしている家族が「いる」と回答した高校生に、世話の悩みを誰かに相談したことがあるのかを質問。また、「ある」場合は誰に相談したのか「ない」場合は理由を質問（複数回答）。
- 定時制制高校生で相談経験「ある」が38.5%、その相談は「家族（父、母、祖父、祖母、きょうだい）」と「友人」にしたケースが最も高く30.0%。
- 定時制高校生で相談経験「ない」が61.5%、相談していない理由は「誰かに相談するほどの悩みではない」「相談しても状況が変わるとは思わない」が高く、ヤングケアラー案件の表面化しにくさが伺える。



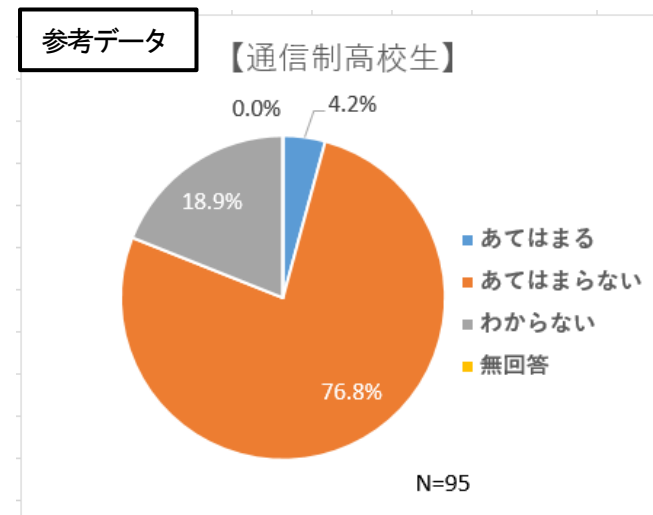
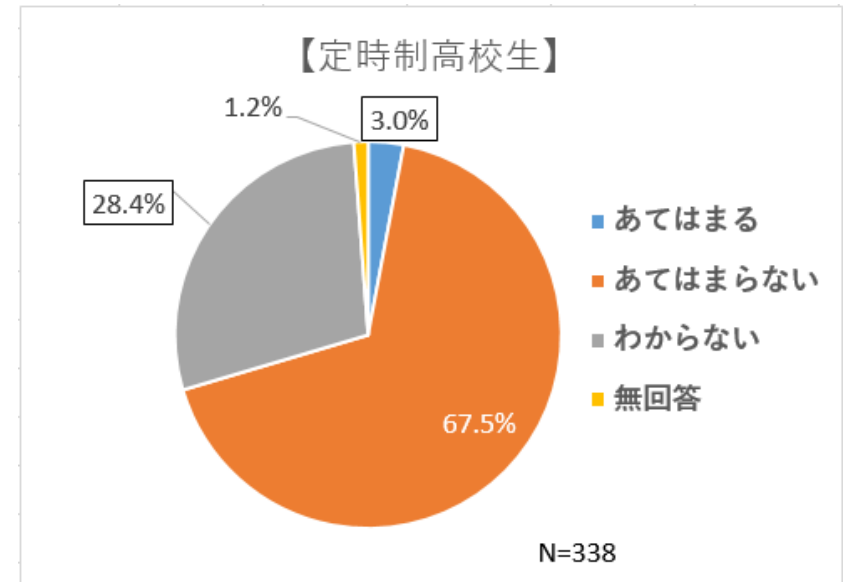
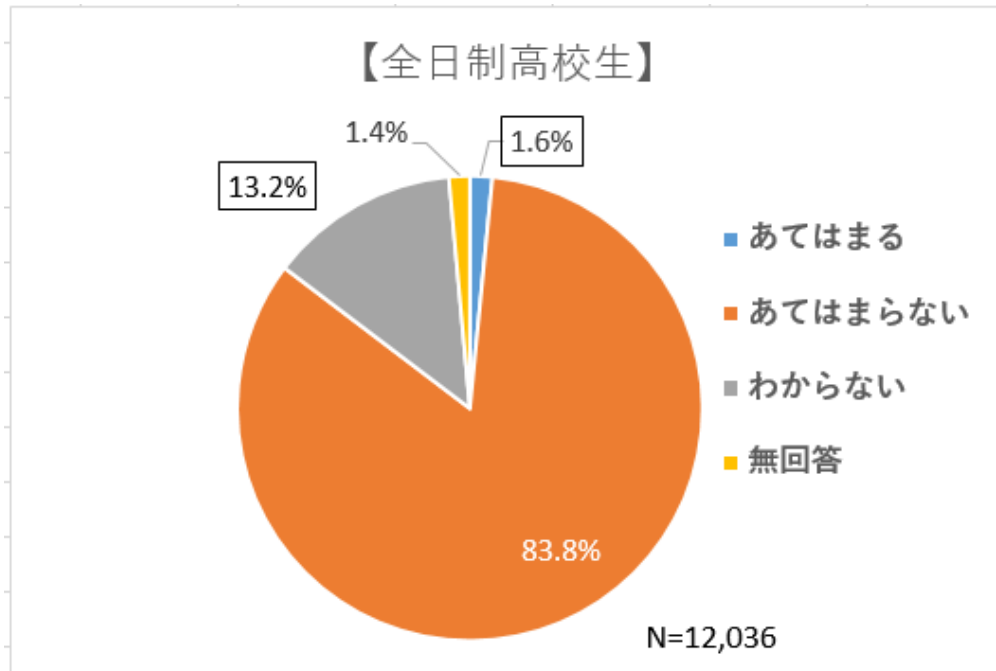
【高校生調査結果⑧】

- 世話をしている家族が「いる」と回答した高校生に、学校や大人に助けて欲しいこと、必要な支援について質問（複数回答）。
- いずれの学校種でも「特にない」が3～4割で最も高い。



【高校生調査結果⑨】

- 高校生に対し、自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて質問。
- 全日制高校生では「あてはまる」が1.6%、定時制高校生は3.0%、通信制高校生は4.2%。
- 全日制高校生では「わからない」が13.2%、定時制高校生は28.4%、通信制高校生は18.9%。



【高校生調査結果⑩】

- 高校生に対し、ヤングケアラーの認知度について質問。
- 全日制高校生では「聞いたことがない」が67.5%、定時制高校生は82.0%、通信制高校生は73.7%。

